

科目コード	記号	科目名	学年	単位・時間	必修・選択	授業形態	単位種別	
2494	BS09	プログラミング論 I	2B	2・90分	必修	講義・通年	履修単位	
教員名		玉城龍洋：TAMAKI Tatsuhiro 二木映子：NIKI Eiko						
授業概要	プログラミング演習 I と連動して、C言語を用いたプログラミングの基礎を学ぶ。C言語の基本データ型、制御構造、ポインタ、ファイル操作、構造体などに加えてアプリケーション作成に必要な基本的アルゴリズムについても学ぶ。							
到達目標				評価方法				
(1)基本データ型や基本制御構造等C言語が理解できる。 (2)プログラミングに必要な基本的なアルゴリズムが理解できる。 (3)(2)のアルゴリズムをC言語で記述できる。 (4)問題を解決するためにC言語でプログラムを作成できる。				評価方法及び配分は、①前期中間試験(20%)、②前期末試験(20%)、③後期中間試験(20%)、④学年末試験(20%)、⑤小テスト・レポート(20%)とする。				
学習・教育目標		(B)	JABEE基準1(1)					
授 業 計 画	前 期		後 期					
	回	項 目	内 容		回	項 目	内 容	
	第1	プログラムとは	ハードウェア、OS、コンパイラなどのプログラム開発環境について講義する。		第16	配列①	配列の宣言と定義	
	第2	C言語の概要	C言語の概要、ソースプログラムとオブジェクトプログラムについて講義する。		第17	配列②	配列	
	第3	データ表現①	基本データ型		第18	配列③	多次元配列	
	第4	データ表現②	式と演算子		第19	配列④	文字列	
	第5	制御構造①	制御の流れ		第20	ポインタ①	ポインタ	
	第6	制御構造②	条件判断処理①		第21	ポインタ②	配列とポインタ	
	第7	制御構造③	条件判断処理②		第22	ポインタ③	ポインタ・関数とポインタ	
	第8	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う。		第23	中間まとめ	中間まとめとして試験を行う。	
	第9	制御構造④	ループ処理①		第24	構造体①	構造体	
	第10	制御構造⑤	ループ処理②		第25	構造体②	構造体配列	
	第11	制御構造⑥	無条件分岐、条件演算子		第26	ファイル入出力	ファイル入出力	
	第12	関数①	関数の定義		第27	住所録①	住所録システムの基本構造	
	第13	関数②	関数の宣言と引数		第28	住所録②	住所録システムの入力	
第14	関数③	標準ライブラリ関数		第29	住所録③	住所録システムの出力		
第15	関数④	再帰関数		第30	まとめ	本講義内容のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。		
関連科目	基礎情報処理論、プログラミング演習 I							
教科書	改定新版 よくわかるC言語 (長谷川聡, 株式会社近代科学社)							
参考書	C言語によるプログラミング 応用編 (内田智史, オーム社発行)							
授業評価・理解度	最終回に授業評価アンケートを行う。							
副担当教員	なし							
備考								